

# 錦城高校新聞

題字 井口 文章  
再刊 第389号  
印刷・発行  
錦城高等学校新聞委員会  
編集室 2022

みんなでつくる  
錦城高校新聞

一面：新年度も好調！快進撃の4部活取材  
食堂に吹く新しい風  
二面：教育実習生にインタビュー！  
10人の教育実習生にインタビュー！

# 躍進 限らない

## 一学期の功績を一挙紹介

今年度も活発に活動する錦城高校の部活動。コロナ禍で多くの制限が掛かる中ではあるが、新1年生も加わって、活動の規模も拡大している。今号では、大会で好成績を収めた、将棋、バドミントン、陸上、ソフトボールの4部活取材した。今夏の更なる活躍に期待が高まっている。

### ソフトボール部

6月5日(日)に令和4年度東京都高校総体兼第74回ソフトボール部大会が行われ、13対0で都立日野高校に勝利した。それによりソフトボール部がベスト16以上の進出を決めた。3年生が東北旅行で不在のため、部長の3年生に変わって、部員の太田真未さん(2F)にその心境を聞いた。対戦相手は勢いがあるチームの都立日野高校でした」と話す太田さん。試合序盤から日野高校が主導権を握り、チームは危機的状況に陥った。しかしその状況をチームメイトがカバーし、チームを救った。1回のミスは仲間がカバーしたことは印象的でした」と嬉しそうに話した。試合中に気を付けたことについては「応援の声を絶やさないこと。誰かの声がかかると試合中もベンチにいる人はずっと応援していました」と話す。応援の力が仲間にも伝わったのか、出塁するためにヘッドスライディングをする選手も現れ、試合の流れは一気に変わっていった。



活気のある守備練習



正確な送球を見せる

止まらないソフトボール部。今後の躍進から目が離せない。また、現在ソフトボール部はマネージャー大募集。あなたの手で選手たちと一緒に支えませんか。

### バドミントン部

6月3日(金)から5日(日)の3日間にかけて行われた第68回関東高等学校バドミントン選手権大会に出場したバドミントン部女子。女子部長の和光綾香さん(3F)は「今回の大会では予選から本戦までの期間が短かったため、1日1日の練習にしっかりと取り組む、声掛けをしなから部員の意識を高めていくことを心掛けた」と話す。大会中にはミスをしたこと、顧問の先生の言ったことを守ることを意識した。大会を振り返り「他の選手と競い合うことよりも自分のペースをキープしてタイムを安定させることを意識しました」と吉川さん。「いくつか反則をとってしまったので、その反省を関東大会に生かしたいです」と改善点もあげた。普段の練習では反則を本番でしないために2人でお互いのフォームを確認し合い、タイムを保つために声を掛け合うことも心がけているという。関東大会に向けて2人は「初めての関東大会の雰囲気味わい、自分



声を掛け合いながら戦いました

### 陸上部

5月7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日)に駒沢オリンピック公園陸上競技場で東京都高等学校陸上競技対校選手権が開催された。女子5000メートル競歩において、吉川佳凜さん(2D)と池田美和さん(2M)が6月17日(金)から20日(月)にかけて行われた関東大会への進出を決めた。出場が決まったときの思いについて池田さんは「1年生の頃からずっと2人で練習してきたので、その努力が報われたようで嬉しかったです」と話す。大会を振り返り「他の選手と競い合うことよりも自分のペースをキープしてタイムを安定させることを意識しました」と吉川さん。「いくつか反則をとってしまったので、その反省を関東大会に生かしたいです」と改善点もあげた。普段の練習では反則を本番でしないために2人でお互いのフォームを確認し合い、タイムを保つために声を掛け合うことも心がけているという。関東大会に向けて2人は「初めての関東大会の雰囲気味わい、自分

### 将棋部

5月22日(日)に行われた全国高等学校将棋竜王戦の東京都予選において、水谷祐太さん(2K)が優勝を決めた。水谷さんは「この大会に懸けた思いについて、この大会の直前に行われた別の東京都代表を決める戦いで負けてしまいましたが、とても悔しい思いをしました。そこで、今回の大会では絶対に勝つて東京都代表になりたいという思いが強かったです」と語る。また、対局での意識については「受け身にならない攻めの姿勢で戦おうと思いました」と話した。今回の大会では予選を2勝1敗で通過し、その後組み込まれたトーナメントで4勝し、優勝を決めたという。最後に「優勝を決めたという思いは、今後の全国大会の抱負を語ってくれた。



「本番に向けた練習」を意識しているという

## 夏服に変わりました

衣替え期間の終了に伴い、14日より夏服に移行しました  
クールビズを効果的に利用して、節電に取り組みましょう

この夏、こまめな節電を！



## “途上国の子供たちに笑顔を” 食堂に新たな自動販売機

食堂の奥に、新しい自動販売機が設置された。子どもたちがこらに笑顔で手を振っている風景が自販機表面の全面にラッピングされている。今回、自販機の導入に協力してくれたのが、飲料メーカー・キリンビバレッジ株式会社(以下KIRIN)と発展途上国の教育支援を行う団体・公益財団法人CIESEF(シーセフ)以下CIESEF)。2020年から都内の私立中学・高等学校に共同で自販機を設置する活動を行っており、売り上げの一部は、CIESEFを通じて途上国での教育支援のための活動資金として使われている。CIESEFとは、途上国の教育水準向上を達成するため、高い教育能力をもった先生を育てようという「国境なき教師団」とい



ぜひご利用ください

## もっと気持ちよく利用するために

昼食の時間や放課後など、多くの生徒で賑わう食堂。最近の利用状況について、「机が汚れている方にお話を伺った。



放課後の自主学習に利用する生徒の姿も

まず、最近の全体的な利用マナーについて「生徒の皆さんは継続してマナーを守ってくれています。コロナ禍において必須となる黙食も、大抵守っていただいていると思いま

期間限定 今年も

食堂のメニューに

冷やしうどん・そば  
冷やし担々麺  
が加わりました!  
是非 ご賞味あれ!!

「徳島で1月に行われた全国大会と同様に、自分の実力を出し切り、結果を気にせず、優勝を決めたという。最後に「優勝を決めたという思いは、今後の全国大会の抱負を語ってくれた。



一番好きな駒は飛車

「後悔先に立たず」と訳されるこの言葉は、かねてより哲学の話題となってきた『徒然草』において兼好法師は次のように書いている。「死は前よりも来らず。かねて後ろに迫り。人皆死ある事を知りて、待つこと、しかも急ならざるに、覚えずして来る。」普段、前を向いて歩いていても、後悔も、いつやってくるか分からない。これは、現代においても同様だ。もし仮に、明日死んでしまっても、自分は後悔のない日々を送れたと胸を張って言うことができるだろうか。今一度、あなたも自分自身に問いかけてみてほしい。最後に、錦城生の友達であるシステム英単語のE.M.A. Stageの扉にある、マハト・ガンジーの言葉を紹介する。『明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ。誰も1日24時間という限りある時間の中で生きていく。QOL(クオリティ・オブ・ライフ)生活の質)を上げ、後悔の無い人生を歩んでいきたい。(金)

## むらさき草

最近「約束のネバーランド」の実写版映画を見た。「約束のネバーランド」とは、集英社の週刊少年ジャンプで連載されていた白井カイウ・出水ぽすか両氏が描いた漫画である▼グレイスフィールドハウスと呼ばれる孤児院で育てられていた子供たち。ハウスは門と高い塀に囲まれており、子供たちはそこで幸せに暮らしていた。14歳になるとハウスを出て、外の世界に入ると幸せな人生を歩んでいく。しかし、実際は、ハウスは、生



